
珍話part4:頼むよ!!おばあちゃん

双月 藤吾

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

珍話 part 4：頼むよ！！おばあちゃん

【Nコード】

N0845A

【作者名】

双月 藤吾

【あらすじ】

藤吾の祖母がやらかしたプチ珍話を載せました挙げたらキリ無いのですが、その一部ですちなみにポケばあちゃんでは無く、これでも働いてるんです

藤吾には83才の祖母がいる。

一見カワイクくて物静かな感じだが、何気に目立ちたがり屋というか、自分に注目をして欲しい素振りをする人である。

私の友達が家に来たら必ず正座して頭を下げてごあいさつ。

そんなもんだから、友達の方が逆にかしこまっちゃって同じ姿勢であいさつするから、・・・これから何が始まるんだって感じ!?!? そんな祖母だが、困る事が幾つかある。

とにかく耳が遠い!! (涙) そして思い違いがスゴイ!! 素晴らしい聞き・思い違いっぷりに思わず低頭合掌したくなる。

・・・藤吾が専門学生の頃、事情があつて二日間学校を休んだのだが、理由は言つてあるにも関わらず担任が家に電話をかけてきた。対応したのは家の祖母。担任が

「もしもし、〇〇さんのお宅ですか? 私、藤吾君の担任の〇〇と申しますが・・・。」

と言つた瞬間、祖母は

「すいません、私はもう年だから耳が遠くて聞こえないんです、どうか勘弁して下さい。」

と言つて、何と電話を切つた!! (汗) 次の日、担任から私が叱られてしまった(泣) 勘弁してくれはこつちのセリフだよ(ＴＯＴ) おばあちゃんっ!?

またある日の事、私の母が
一万円札を両替して欲しいと祖母に頼むと、祖母は

「あるかなあ?」

と財布をゴソゴソ。

出て来たお金は8000円、小銭を足したら9000円になった。普通なら祖母の方が1000円足りないわけだから両替は不成立になるのだが、気前の良い母は大目に見ようと、祖母に1000円足りなくても良いから両替しようと言おうとした瞬間!! 祖母が

「あつ、〇〇子、1000円はいらないから、おまけするよ。」
と。思わず母が

「おばあちゃん！それは私のセリフだよっ！？」

まったく素晴らしい思い違いだ（-o-;）でも私はそんな祖母
が大好きです（*^|^*）いつまでも元気で長生きしてね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0845a/>

珍話part4:頼むよ!!おばあちゃん

2010年10月28日04時47分発行